

| | | | | | |
|-----|----|----|-----------|-------|---|
| 教科名 | 地歴 | 科目 | 世界史演習（特進） | 週授業時間 | 4 |
|-----|----|----|-----------|-------|---|

1. 教科書および副教材・参考書

- 教科書 : 『詳説世界史探究』(山川出版社)
 資料集 : 『最新世界史図説タペストリー』(帝国書院)
 問題集 : 『高校世界史基本用語問題集 ツインズ・マスター』(山川出版社)
 問題集 : 『新世界史研究ノート応用編』(啓隆社)
 問題集 : 『世界史探究実力トレーニング』(啓隆社)
 参考書 : 『世界史探究用語集』(山川出版社)

2. 授業の目標および内容

世界史演習では、問題演習を行います。世界史の複雑な国際関係を理解するためには、各国史(あるいは地域史)というタテの糸、時代史というヨコの糸、その両方を織り交ぜ、さらにそこに自分なりの染色を施すという作業が必要です。世界史を学ぶということはひとつの布を織り上げるようなもので、その「自分なりの染色」という工程こそが実は世界史を学ぶ最高の面白さでもあるのです。つまり「自分が理解した世界史」というのは「自分史」でもあるのです。授業においてもそうした点を強調しながら進めていきたいと思っています。

3. 試験について

| | 1 学期 | | 2 学期 | | 3 学期 |
|------|-----------|--------|-----------|---------|------|
| 定期試験 | 一次 5 月 | 二次 7 月 | 一次 10 月 | 二次 12 月 | |
| 学力試験 | 第 1 回 6 月 | | 第 2 回 9 月 | | |

内容・難易度について

① 定期試験：100 点満点で出題

問題演習を中心とした講義なので、教科書のページではかなりの広範囲になります。レベルも基礎から応用まで多岐にわたります。

② 学力試験：選択・演習で 50 点ずつ、計 100 点満点で出題

入試を意識して、基礎学力到達度テストから大学入試共通テストに準じた問題を実施します。

4. 課題・補習について

適宜、必要に応じて行います。

5. 評価の視点

定期テストの点数を基本に、平常点(提出物、小テストの結果、学力テストの結果、授業態度など)を含め、総合的に評価点を算出します。

授業計画

| 学期 | 単 元 | 学 習 内 容 | 備 考 |
|----|--------------------------------------|---|---|
| 1 | 共通テストレベル演習 論述演習 | <ul style="list-style-type: none"> ・先史/古代史① ・東洋史① ・古代・中世西洋史 ・東洋史② ・東洋史③ ・近世西洋史 ・近代西洋史 | |
| 2 | 基礎学力試験対策演習 共通テストレベル演習 総合演習 | <ul style="list-style-type: none"> ・東洋史③ ・現代史① ・現代史② ・テーマ史別問題演習 ・正誤問題演習 ・共通テスト問題演習 ・大学別問題演習 ・論述問題演習 | 毎回授業の初めに 10 分間テストを実施する。 週に 1 回は論述対策 を行う。 |